MODELLISTA

MSD43-52005/6
リヤスカート

取付・取扱要領書

この度はMODELLISTAリヤスカートをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番 ・ 適合車種

品　番	塗装色	適合車種	備　考
MSD43-52005-A0	ソニッククォーツ(085)	LBX	
MSD43-52005-B2	ソニッククロム(1L1)		
MSD43-52005-C0	ブラックマイカ(209)		
MSD43-52006-NP	未塗装品		センターパーツは塗装済み

・最新の適合情報はMODELLISTAカタログサイトをご覧ください。https://www.modellista.co.jp/

■ 構成部品

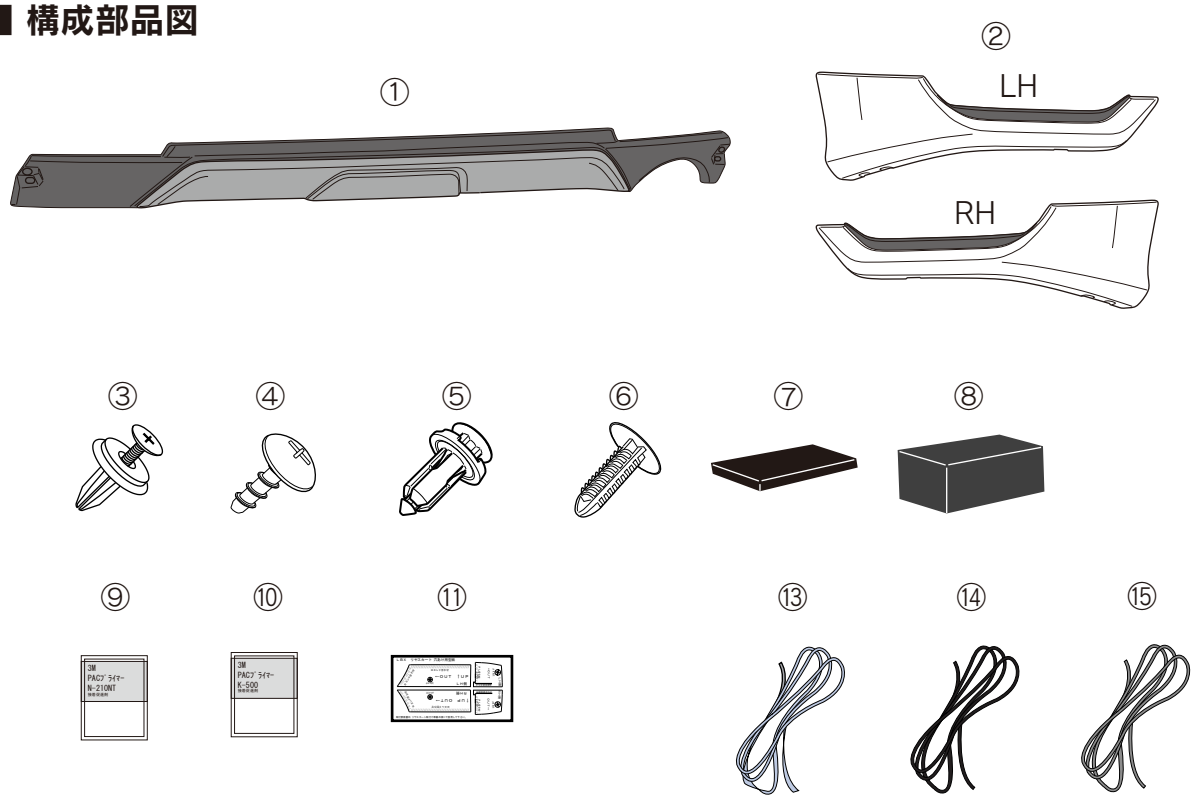
No.	部品名	数量	備考
①	センターパーツ	1	材質：PPE
②	サイドパーツ（RH/LH)	各1	材質：PPE
③	スクリベット	2	4890
④	タッピングスクリュー	2	5×12
⑤	クリップ	7	047K
⑥	ブラッシュクリップ	2	4410
⑦	ゴムスペーサー	1	t 1×10×20
⑧	エプトシーラー	2	t 10×10×25
⑨	PACプライマー	1	N-210NT
⑩	PACプライマー	1	K-500
⑪	穴あけ型紙シール	1	

以下、 MSD43-52006-NP（未塗装品セット）のみに同梱

No.	部品名	数量	備考
⑬	エンドモール（ライトグレー）	1	L=1250mm
⑭	エンドモール（ブラック）	1	L=1250mm
⑮	エンドモール（グレー）	1	L=1250mm

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造･加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取り付け･交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体･構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。
取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が１５℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。
温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は４９Ｎ（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。
圧着が足りないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取り付け後２４時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定･確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解･脱着した部位により、再設定･調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検･調整･設定を行ってください。

■ 目次

1.表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1～2
2. 取り付け上のご注意 (取り付け作業者の方へ)　・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
3.目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取り付け構成図・・4
4.取り付け準備、取り付け要領　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5～11
5.未塗装品の取り扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12～13
6.取り付け完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

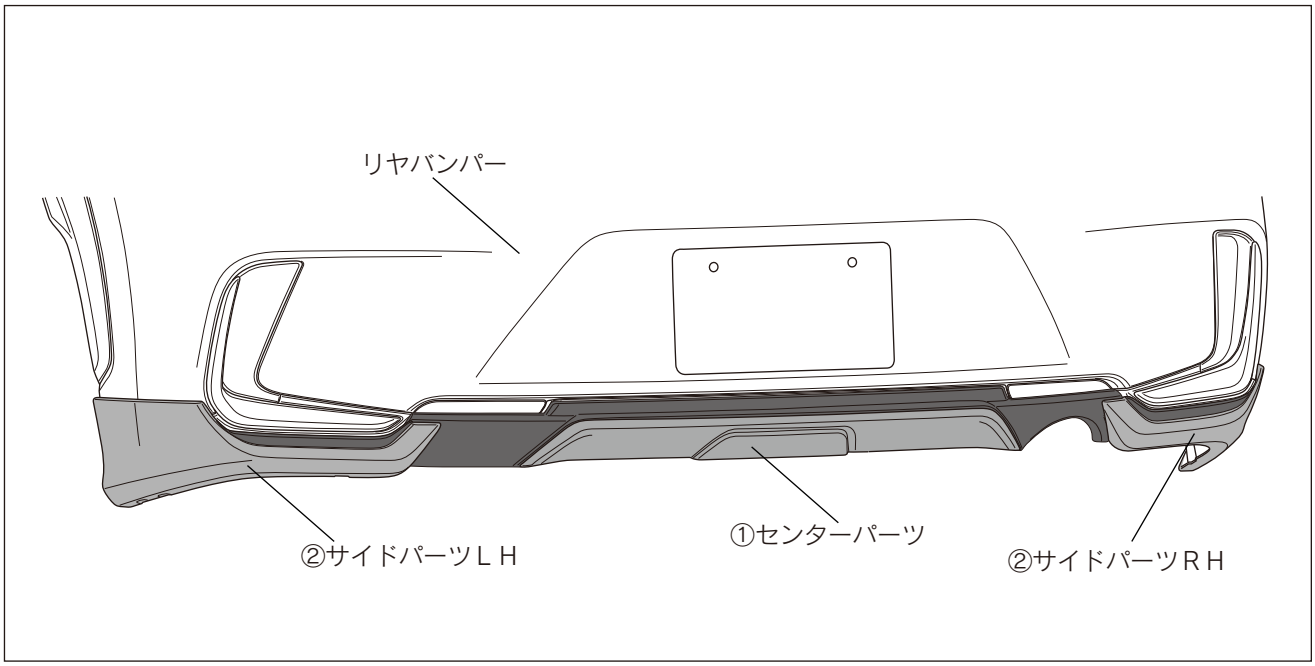
■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具
・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ケガキ針・ヤスリ・保護メガネ
・電動ドリル（刃：３.０mm/５.０mm/６.０mm）
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・布テープ・養生テープ
・イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、3年・６０,０００Ｋmの保証を実施致します。
（３年または６０,０００Ｋm走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細は MODELLISTA パーツカタログサイト＜https://www.modellista.co.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

■ 取り付け構成図



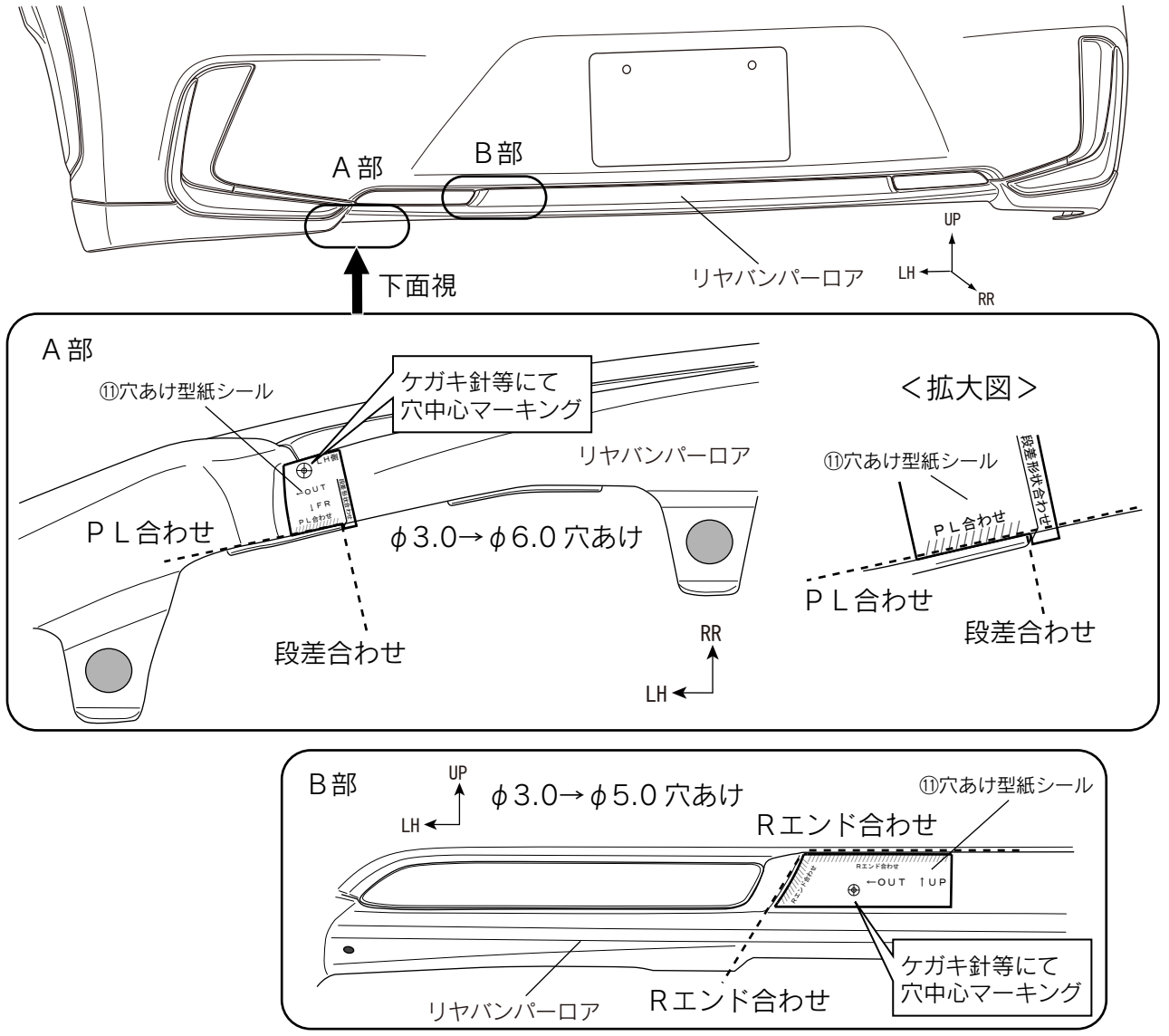
■ 取り付け準備、取り付け要領

※本取り付け・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

□リヤスカート取り付け準備

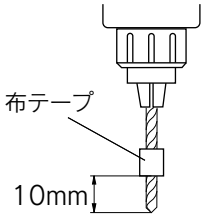
【リヤバンパーの穴あけ作業】

図1



1.⑪穴あけ型紙シールを図1のように位置を決め、リヤバンパーロアに貼り付ける。
2.A部型紙記載の穴あけ部センターに下穴をあけ、φ3.0→φ6.0 の順で穴あけを行う。
3.B部型紙記載の穴あけ部センターに下穴をあけ、φ3.0→φ5.0 の順で穴あけを行う。

アドバイス：・穴あけ作業の際は、ドリルの刃に布テープで
貫通防止策を施して下さい。
・穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、
位置がズレないように注意してください。
・穴あけ後、穴周囲のバリを除去してください。

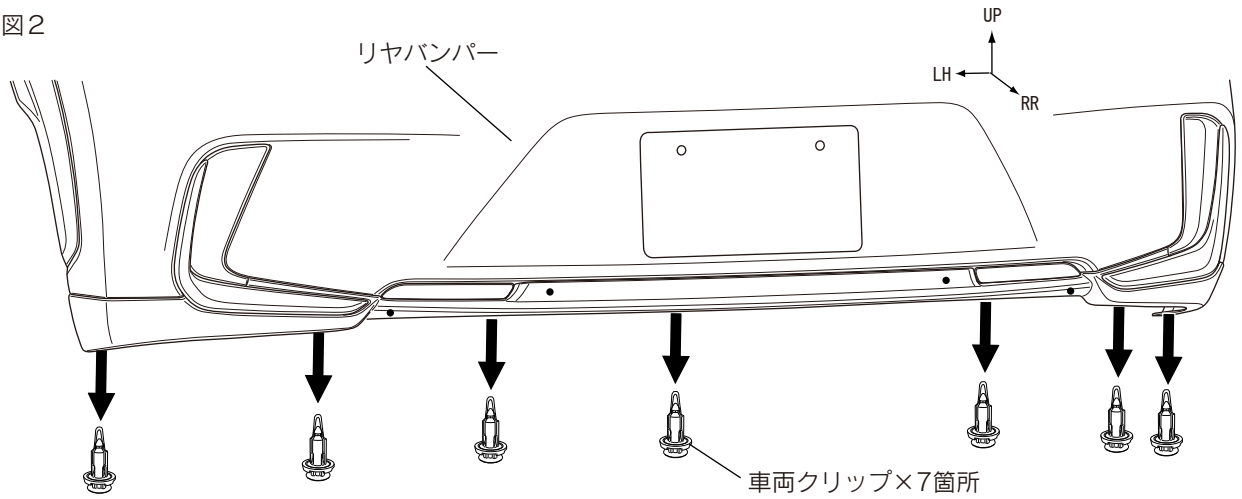


⚠注意：・穴あけ作業時は保護メガネを着用してください。
・ドリル刃は正しいサイズを使用し、加工面に対して垂直に穴あけしてください。

4.⑪穴あけ型紙シールを全て剥がす。

□リヤスカート取り付け要領

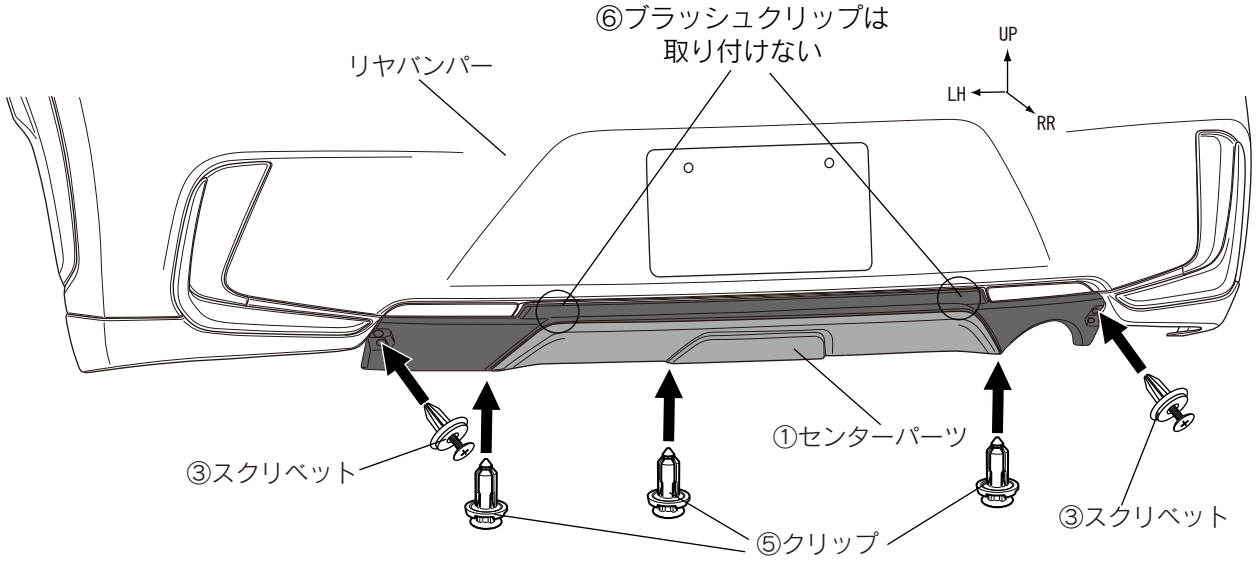
図2



1.図２を参照しリヤバンパーの下面クリップ 計7箇所を取り外す。

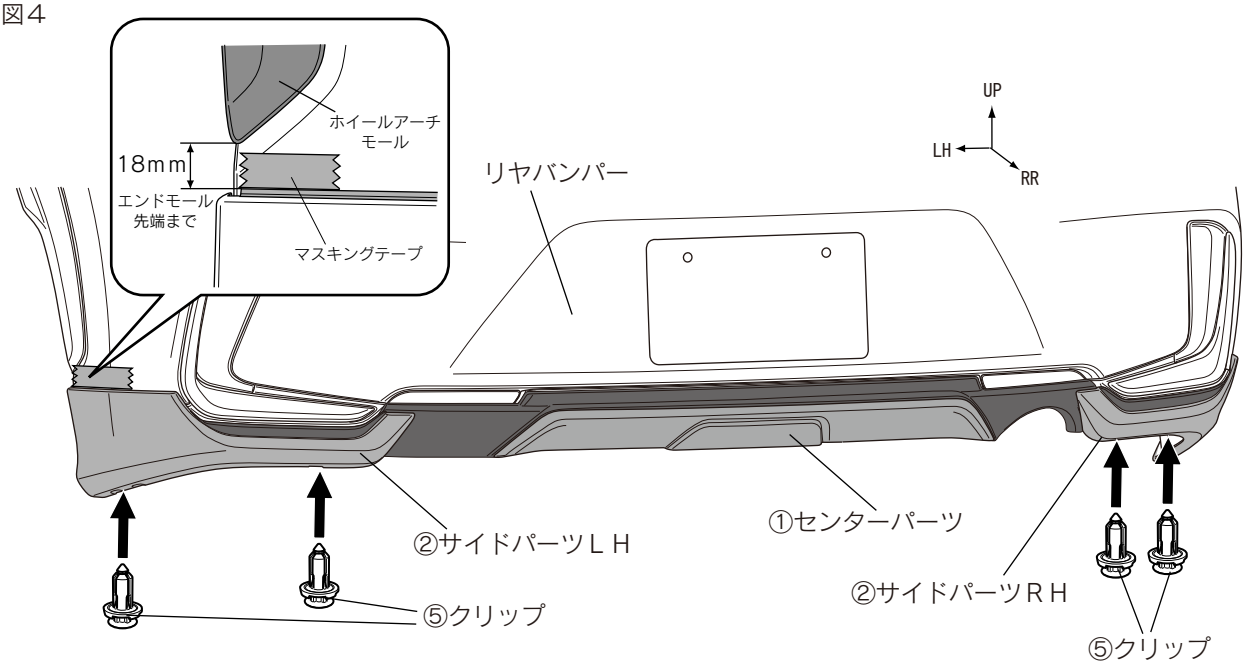
⚠**注意:**取り外した車両クリップは再使用しません。

図3



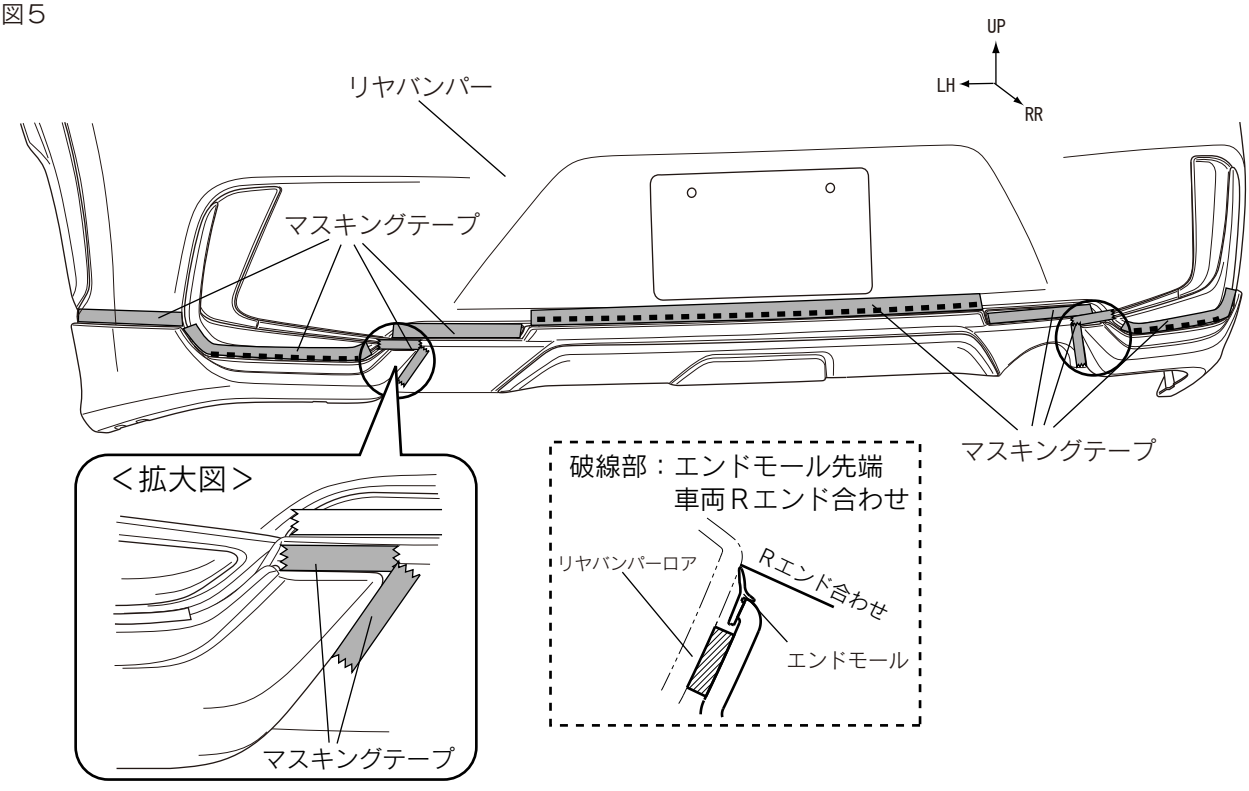
2.図３のように①センターパーツを③スクリベットと⑤クリップにて仮固定する。

図４



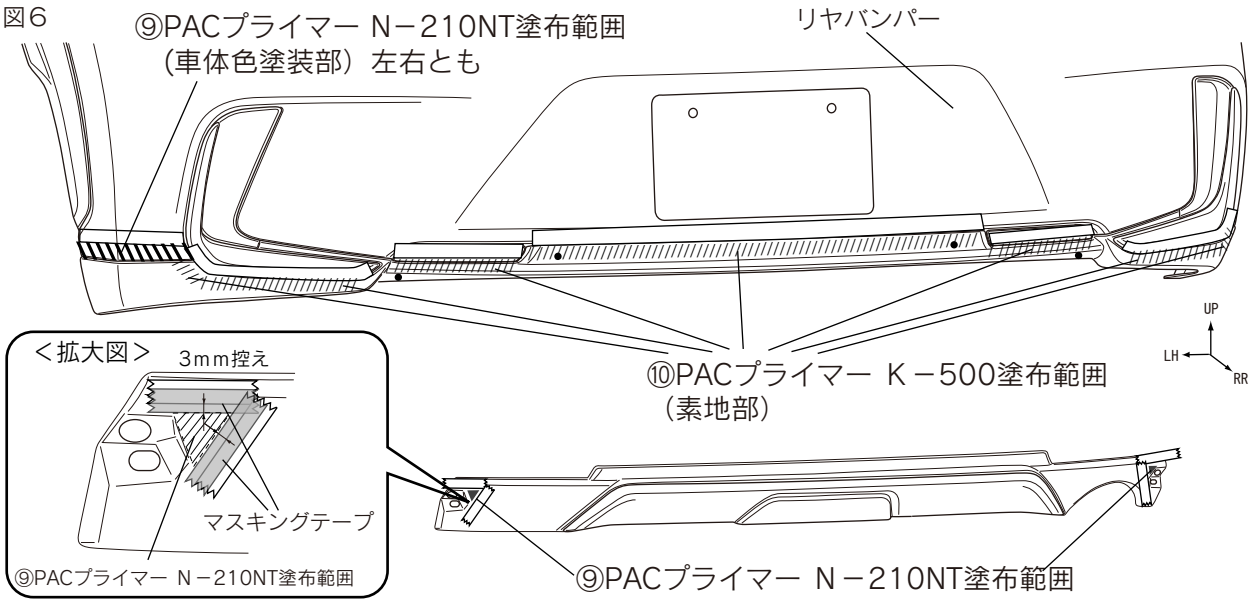
3.図４のように②サイドパーツを⑤クリップにて仮固定する。
4.ホイールアーチモール下端から18ｍｍの所にマスキングテープを貼り付ける。

図５



5.図５のようにリヤスカートの取り付け位置を決め、製品外周にマスキングテープを貼り付ける。
6.②サイドパーツ形状に沿って、①センターパーツにマスキングテープを貼り付ける。

図6



7.②サイドパーツと①センターパーツを取り外し、図6のようにリヤバンパーの両面テープ貼り付け部（斜線部）を清掃・脱脂し、⑨PACプライマー N-210NT・⑩PACプライマー K-500を塗布する。

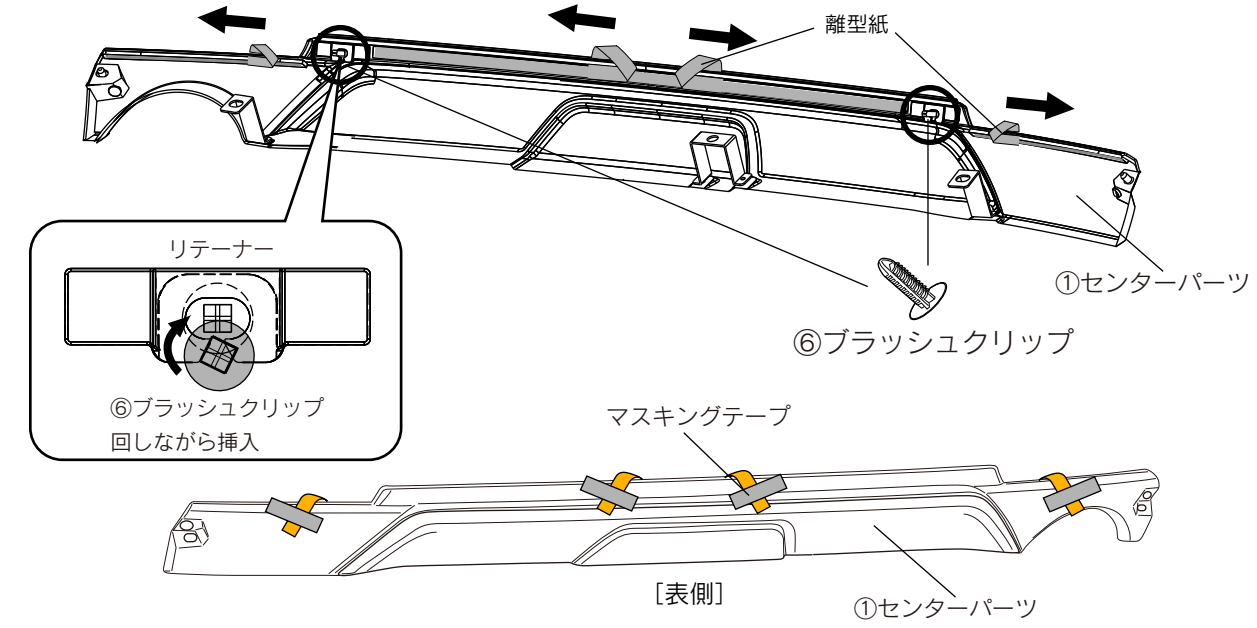
8.②サイドパーツが①センターパーツに重なる両面テープ貼り付け部（斜線部）はマスキングテープから3mm控えた場所にマスキングテープを貼り付け、清掃・脱脂後 ⑨パックプライマーN-210NTを塗布する。

☝ **アドバイス:** 清掃・脱脂の際は、脱脂要領書を確認してください。

⚠ **注意:** プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

9.全てのマスキングテープを剥がす。

図7

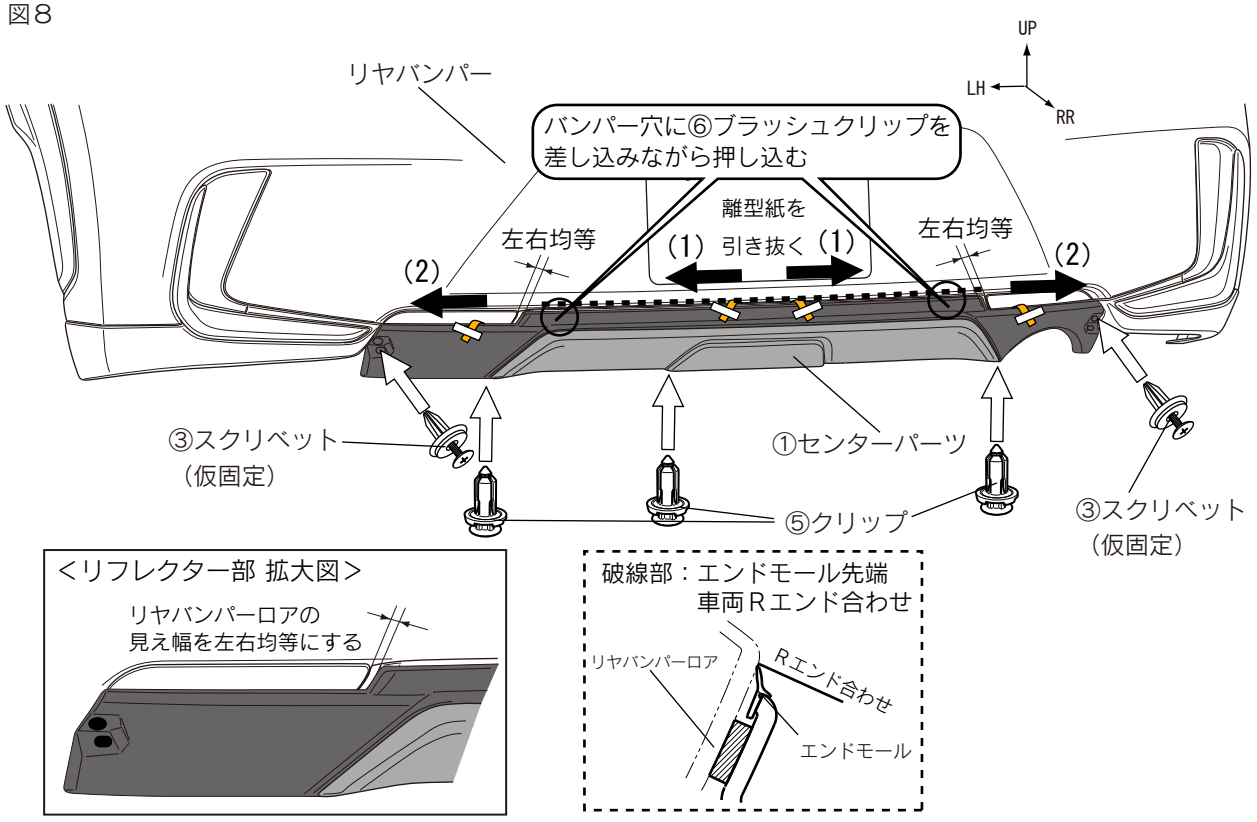


10.図 7 のように①センターパーツの両面テープ離型紙を矢印の方向に剥がしてマスキングテープで表側に貼り付ける。（4箇所）

11.⑥ブラッシュクリップを①センターパーツ裏面のリテーナー部に挿入する。（2箇所）

⚠ **注意:** ⑥ブラッシュクリップを無理に挿入すると、リテーナーが破損するおそれがあります。

図8

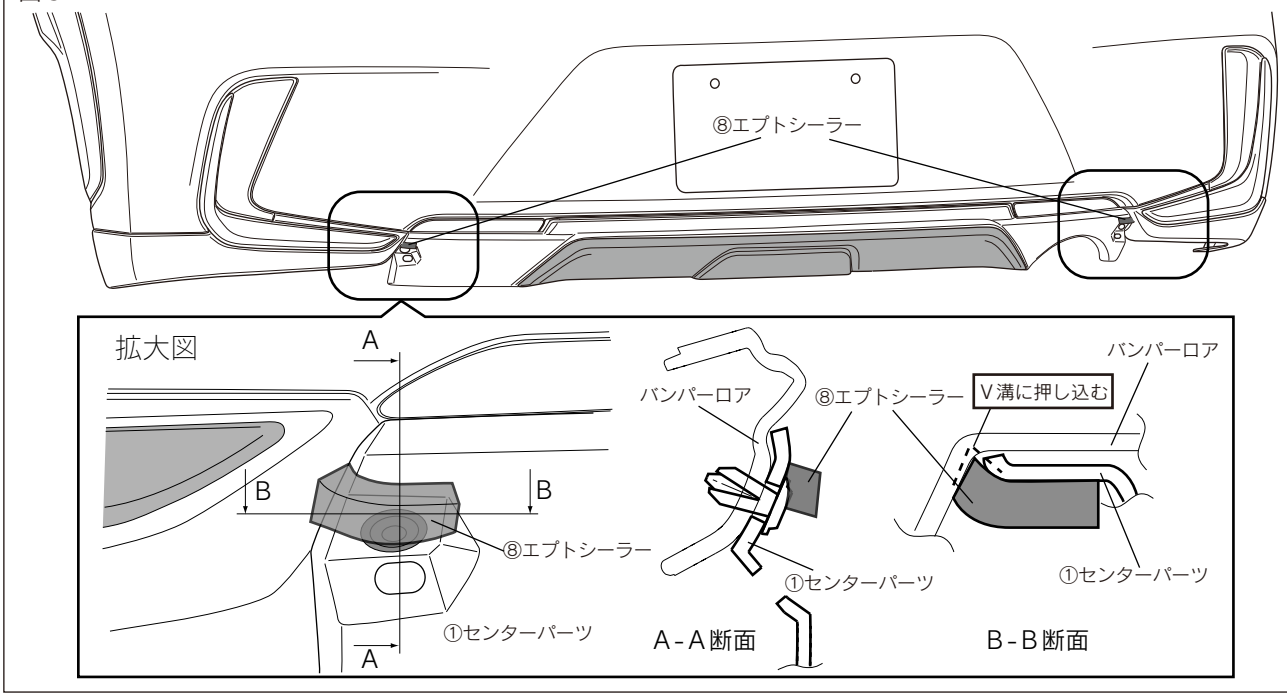


12.①センターパーツの⑥ブラッシュクリップをバンパー穴に挿入しながら車両にかぶせ、
図8のように③スクリベットにて仮固定し、⑤クリップで締結後、センター部から順に両面テープ離型紙を引き抜き圧着する。

⚠**注意:** ⑥ブラッシュクリップ部はバンパーとエンドモールに隙間が無くなるまで押し込んでください。

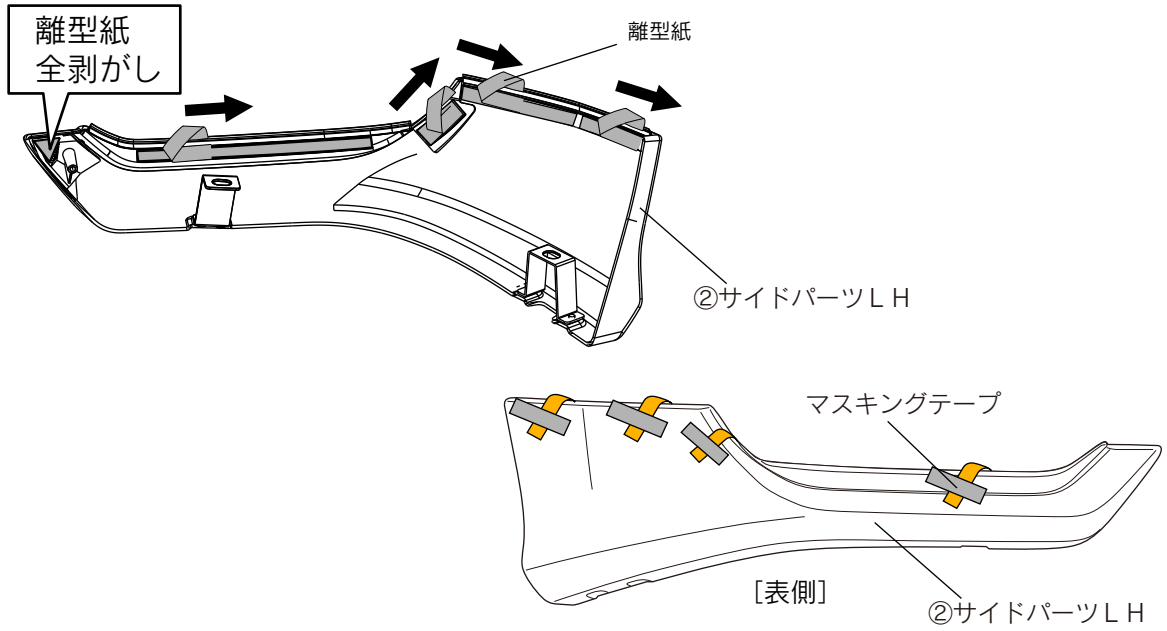
13.両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。
14.③スクリベットを本固定する。

図9



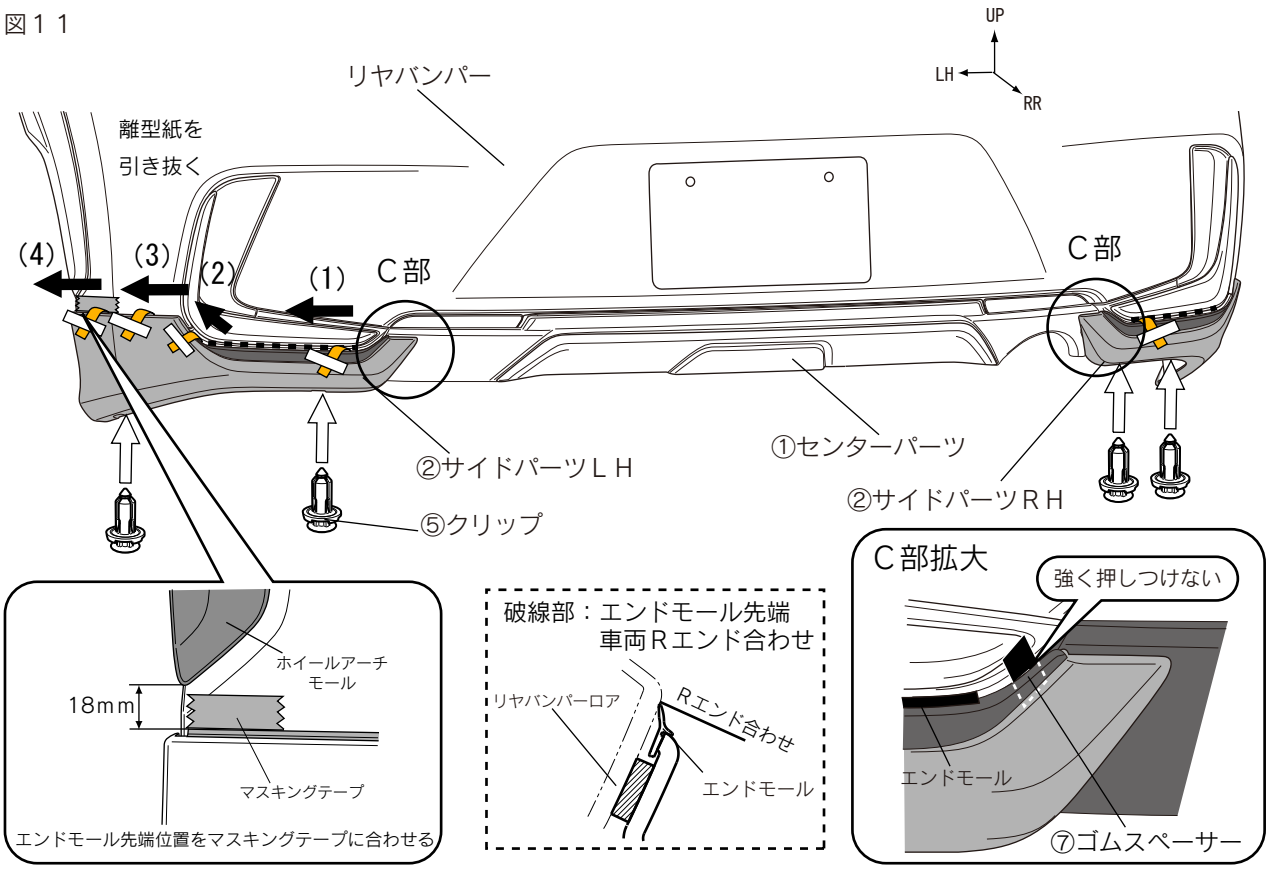
15.図９のように①センターパーツの両端にすき間埋め用の⑧エプトシーラーを貼り付ける。

図１０



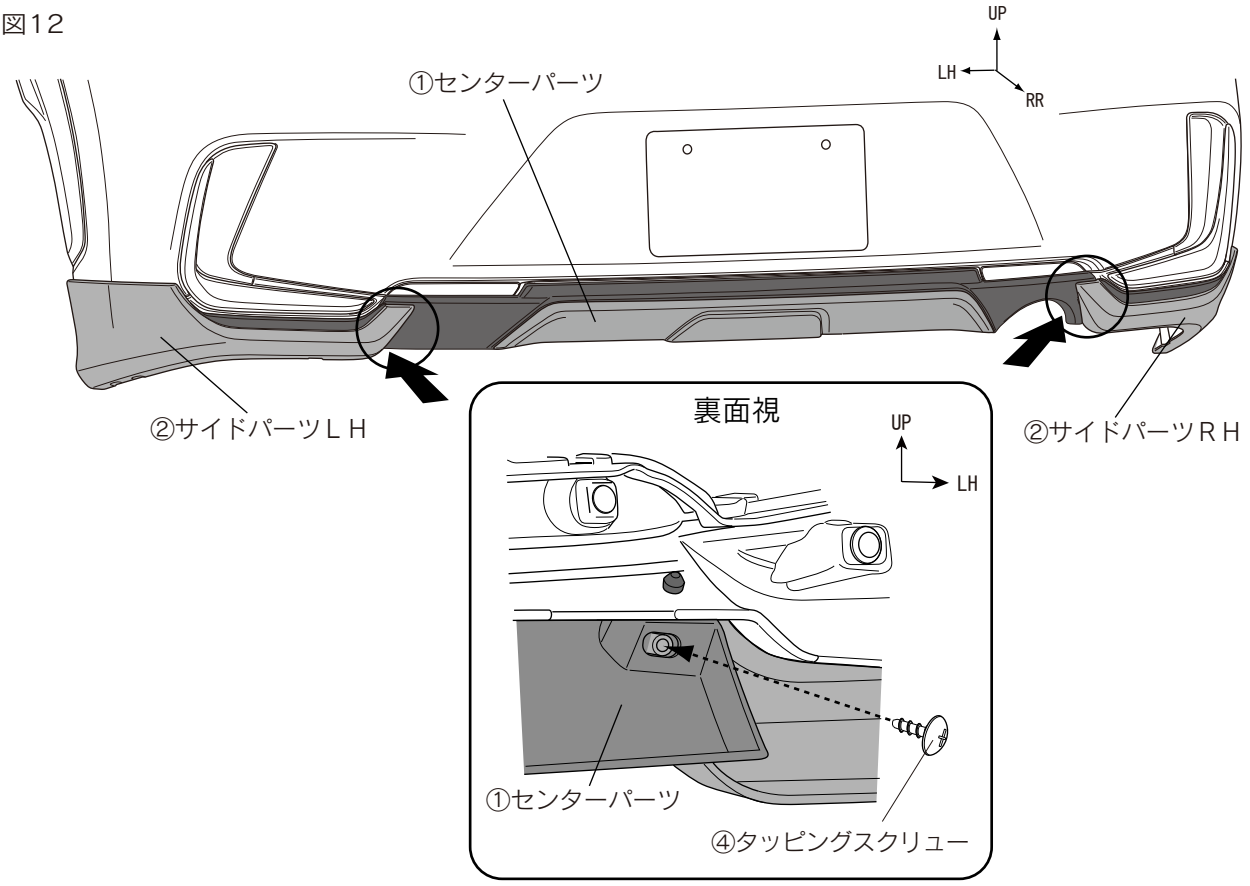
16.図１０のように②サイドパーツの両面テープ離型紙をセンター側1箇所は全て剥がし、その他の離型紙は矢印の方向に剥がしてマスキングテープで表側に貼り付ける。（4箇所）

図１１



17.図11のように②サイドパーツに⑦ゴムスペーサーを挟みながら車両にかぶせ、下面ブラケットを⑤クリップで締結後、両面テープ離型紙を引き抜き圧着する。
18.両面テープの圧着は、49N(5kgf)程度の力で行ってください。

図12



19.図12のように②サイドパーツ裏面から④タッピングスクリューにて締結を行う。

20.⑦ゴムスペーサーを取り外す。

塗装済み品の取り付けは、5ページ【リヤスカートの取り付け準備】に進み作業を行ってください。

■未塗装品の取り扱いについて

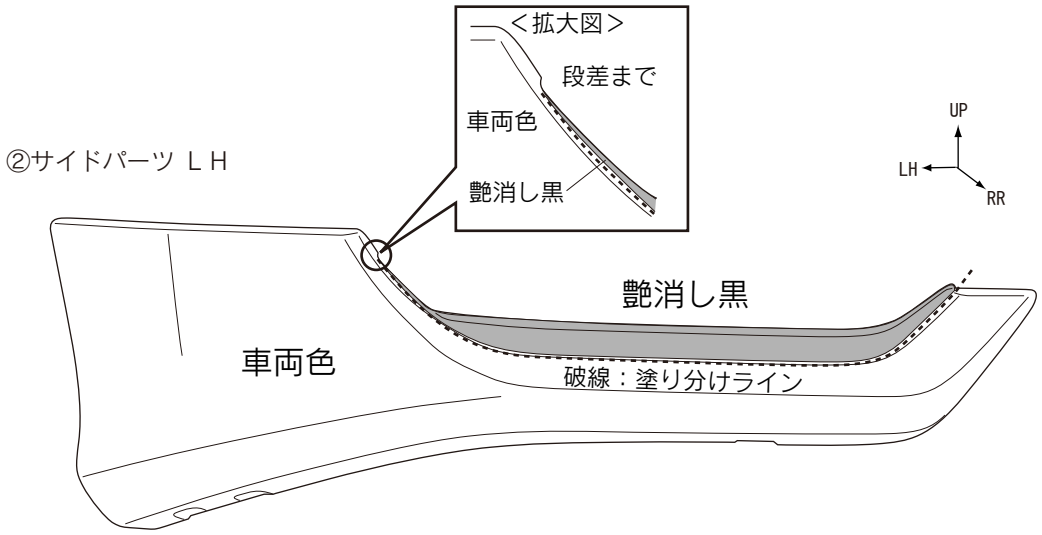
下記は未塗装品（MSD43-52006-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行ってください。

⚠注意 :本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

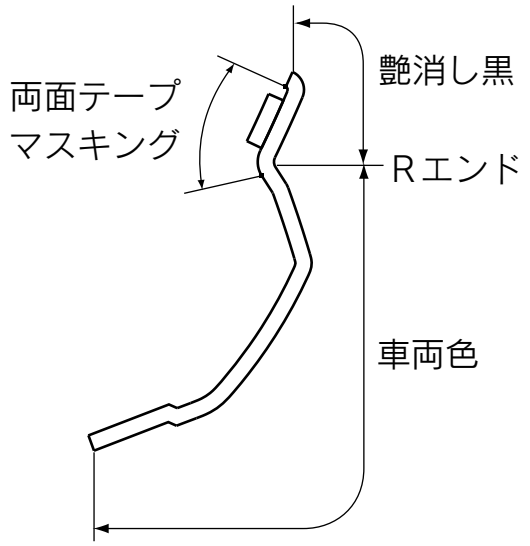
※本取付・取扱要領書は、主にＬＨ側を示しており、ＲＨ側も同様に行ってください。

□リヤスカート（サイドパーツ）の塗装

図１３　※ＬＨ図示　左右共通作業



【断面図】



⚠**注意**：乾燥温度を60℃以上に上げますと製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。上塗り用の塗装はウレタン系をご使用ください。

⚠**警告**：両面テープには、絶対に塗装しないでください。接着力が低下します。マスキングテープを貼るなどして対応してください。

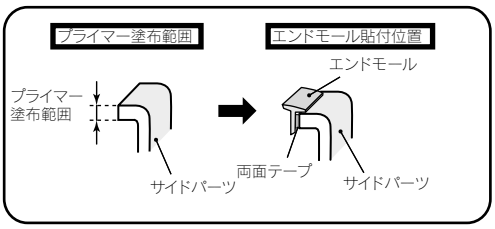
⚠**注意**：脱脂をする場合は、イソプロピルアルコール（ＩＰＡ）を使用し、パーツクリーナーおよびシンナーは使用しないでください。プライマーが溶けるおそれがあります。

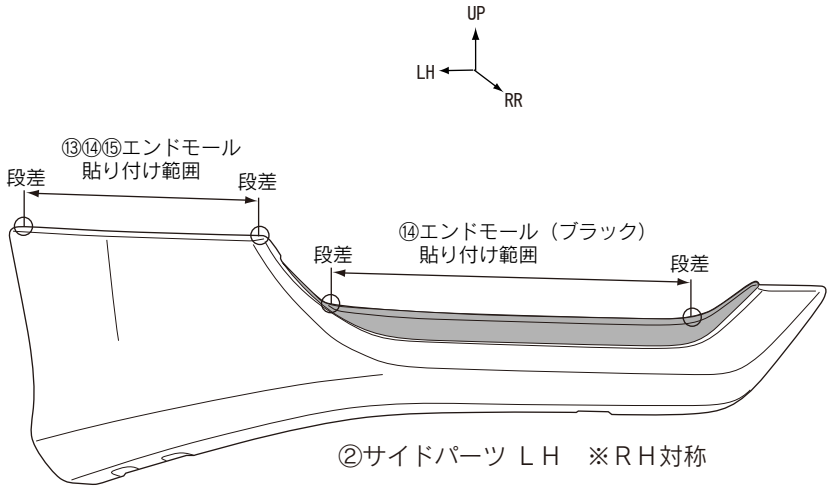
脱脂要領書をあわせて確認してください。

1.図13のように②サイドパーツの塗り分け塗装を行う。

□エンドモールの貼り付け

図１４　※ＬＨ図示　左右共通作業





②サイドパーツ ＬＨ　※ＲＨ対称

エンドモール推奨使用色

色番号	色 名 称	モール色
085	ソニッククォーツ	ライトグレー
1F7	シルバーメタリック	グレー
1H5	アストログレーメタリック	グレー
209	ブラックマイカ	ブラック
1L1	ソニッククロム	ブラック
3U5	レッドスピネル	ブラック
4Y5	ソニックカッパー	ブラック
5A3	パッショネイトイエロー	ライトグレー
8W7	ディープアズールマイカメタリック	ブラック
1M9	ＳＯＵ	ブラック

1.図14のように各パーツのエンドモール貼り付け部(断面図参照)を清掃・脱脂し、⑩PACプライマーK-500を塗布する。

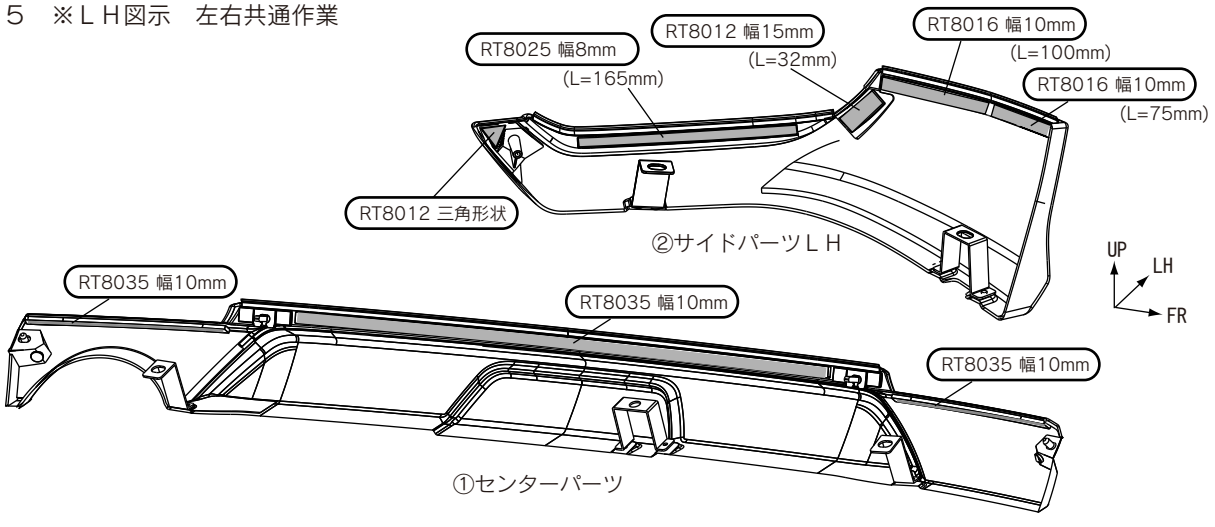
アドバイス: 清掃・脱脂の際は、脱脂要領書を確認してください。

⚠**注意:** プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール(IPA)で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

2.⑬⑭⑮エンドモールの両面テープの離型紙を剥がしながら貼り付け圧着する。

■補修キット両面テープ貼り付け
補修キットを使用してリヤスカートの再取り付けを行う際は、図を参考に両面テープを選択し貼り付けてください。

図１５　※ＬＨ図示　左右共通作業



■取り付け完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びリヤスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
MODELLISTA 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

MODELLISTA

脱脂作業要領書

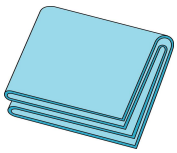
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約３分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約６分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約４分）
合計　約 13 分

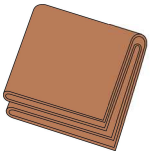
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等

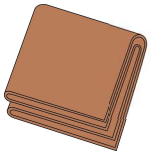

水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

１．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
２．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
３．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
４．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
５．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

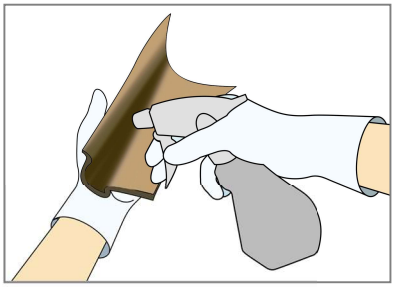

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

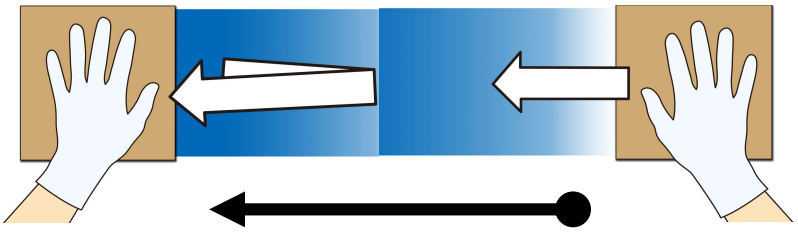


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

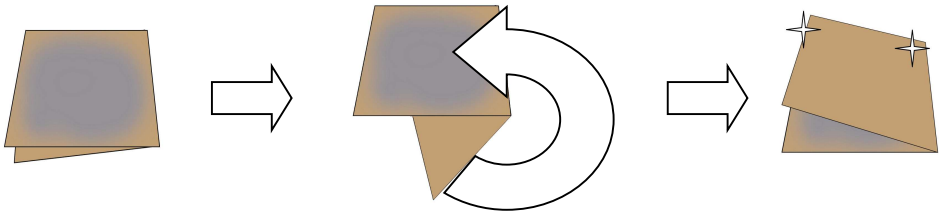
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。